

文教厚生常任委員会報告書

令和 5 年 2 月 22 日

委員長 平木 尚子

文教厚生常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、令和 5 年 1 月 23 日、26 日に関係部課長等に出席を求め、委員会を開催いたしました。

保健福祉部

隣保館

資料記載事業について報告。

委員から、ひだまり館まつりの目的や効果、周知についての問いに、目的は人権課題の認知と啓発、地域住民や周辺住民との交流、隣保事業の報告の場。効果はそのようなことが広がること。周知については、広報こが、市公式ホームページへの掲載、市役所、サンコスモ古賀など市の各施設でのポスター掲示、事業への参加者や関係団体への周知を行っている。開催が分かるような看板なども工夫する。学校については学校長を通じて案内、送迎バスの停留所がある区には案内を送っているが、現在バス停での告知は行っていないが、当日掲示するとのこと。スタンドアローン（一人で立つ）支援事業のフードバンク福岡との食料品の提供についての問いに、合意書を結び、期間は 1 年間であるが契約終了の意思表示がなければ引き続き同一内容で更新されるとのこと。市長の所信表明と個別事業との関連についての問いに、所信表明に個別事業全てを記載することは困難であるため、マスタープラン等で示しているとのこと。

福祉課

資料記載事業について報告。

委員から、民生委員、主任児童委員の高齢化や改選、及び定員に関する課題はどの問いに、区長会や関係機関等を当たり、人選については再三お願いしている。参加しやすい定例会の開催日時については次期に向けて検討していくが、現委員からは平日が参加しやすいとのこと。緊急小口資金の返済に伴う相談支援についての問いに、返済困難の相談は上がってきていないが、貸付けの際に家計相談も入っており、古賀市社会福祉協議会と連携しながら対応していくとのこと。古賀市の高齢者の配食サービスについて、3 月で閉店する事業者があることへの影響はどの問いに、他の事業者で利用していただけるように考えているとのこと。就業しながら認知症等で親の介護をされている人の相談時間や相談体制についての問いに、現状は地域包括支援センターの開所時間内で対応しているとのこと。ひとり暮らしをしている人の認知症早期発見に関する取組についての問いに、認知症地域支援推進員という研修を受けた相談員と基幹型地域包括支援センターの職員が情報共有を図り、早期発見、早期対応に努めている。医療につながっていない方については医療機関と連携を図り、診断、相談を行っているとのこと。千鳥苑の今後の在り方についての問いに、まずは指定管理の期間を次期 5 年間とする方針を出している。令和 10 年度までには次のことを考え、しっかりとした方向性について提示すべきと考えるとのこと。その他、男性トイレのサンタリーボックス、障がい者就労支援についての詳細な質疑応答が行われた。

健康介護課

資料記載事業について報告。

委員から、ヘルスアップぷらんの野菜もりもり応援店の YouTube 配信についての問いに、制作は店舗の人の意見を聞きながら職員が作成して配信している。これから配信するため、効果の確認も行っていくとのこと。地域支え合いネットワーク課題別会議の買い物支援について、移動販売の地域と課題、今後の拡大についての問いに、これまで街部の方で行っていたが、現在は山間部の方や高齢者の独居世帯が多いところで実施し、かなり喜ばれているが、本当のニーズを把握し、今後も引き続き検討を行っていくとのこと。ヘルス・ステーション設置取下げの件の経緯や市のフォローについての問いに、コロナ禍で実施ができていないことや、初期のメンバーの高齢化、役員の成り手不足など地域の実情もあるが、福祉会等での健康測定は行われているので、人材のサポート支援、フォローを行いながら対応を継続したいとのこと。特定健診の受診状況についての問いに、コロナ禍で健診実施回数や時期がずれたこともあったが、令和4年度は、受診勧奨の成果もあり、受診者が戻ってきているとのこと。ヘルスアップぷらん見直しアンケートから見える課題についての問いに、現在、アンケート回収が終了し、集計作業を行っているとのこと。その他、まちづくりに関する市民アンケートから見える全世代型の健康づくりの取組、物価高騰対策のお米とごみ袋について等の詳細な質疑応答が行われた。

子育て支援課

資料記載事業について報告。

委員から、令和5年4月からのこども家庭庁発足に当たり、古賀市の状況についての問いに、令和6年4月の児童福祉法の改正施行により、児童福祉分野と母子保健の分野を一体的に扱う機能を持つこども家庭センターの設置が市区町村の努力義務となるが、現在の体制は、既に係が隣り合わせで連携を取っている。今後、体制の中で足りない部分等があれば、そこを補強していくとのこと。子どもの誕生お祝い事業などから相談につながるための工夫などの問いに、乳幼児家庭全戸訪問時に、専門職が子どもの誕生お祝い事業の品物を届けており、その際に家庭の状況などを聞き取り、必要な支援につないでいる。また、今年度から生後6か月頃の乳児を対象に始めている育児相談会も相談の場とし、必要な支援につないでいる。それ以前にも、母子健康手帳の交付の時から校区担当制を設け、顔見知りの専門職が妊娠中から引き続き、産前産後訪問、乳児家庭訪問、育児相談会とつなげ、支援していく体制を取っている。支援が必要な場合の訪問の頻度は週に1回程度あるいは多い時には週に2回から3回、電話や訪問などで支援をしている。病院との連携も必要であれば情報共有しているとのこと。古賀市の少子化の現状と今後の見通しについての問いに、出生数は、令和4年度については国の傾向と同様、前年を下回っている。今後の推移については、出生数に左右されるところもあるが、社会動態として転入が大きく関わってくる。市としても住宅の受入れは積極的に行っていく方針であり、数字が上向いていく可能性はあるとのこと。不適切な保育が問題となっているが、古賀市での取組はどの問いに、国の方でも調査が行われている。その対処については、今後国の調査結果を踏まえて実態があれば対処していく必要があるとのこと。その他、病児保育の体制、保育所の待機児童の動向、幼稚園の入園者数の状況、子育て施策の行政サービス、ヤングケアラー世帯日常生活支援事業の状況、こども発達ルーム、出産子育て応援補助金の件などについての詳細な質疑応答が行われた。

教育部

教育総務課

資料記載事業について報告。

委員から、古賀北中学校の地域開放室の安全対策についての問いに、予約した利用者のみが利用し、予約者が誰であるかは生涯学習推進課で把握できる。防犯カメラ等の設置を検討中とのこと。地域開放室を利用する場合の車椅子の方等のスロープの位置についての問いに、車椅子でもバリアフリーで鍵を開けられるところにアクセスできることを重要視し、ルートを確認しているとのこと。地域開放室の進入路の暗さへの対応や安全面の対策はとの問いに、駐車場は街灯、通路は人感センサー付きのLEDの照明灯で足元を照らす。スロープ付近にはLED照明と人感センサーを組み込んだピロティー内を照らす照明を施工予定。また、ピロティー付近への防犯カメラの設置に向けて検討中とのこと。古賀北中学校の築年数、大規模改造全体に関わる事業費、財源についての問いに、築年数は40年、事業費は令和3年度、令和4年度合わせて約8億3,000万円。財源は市債を充て、その一部が交付税措置されるとのこと。排水など表面に見えないところの改造もされたのかとの問いに、トイレを洋式化することにより配置が変わり、床下にある配管を全部リニューアル、電気の配線や換気設備なども一新しているとのこと。地域開放室などの清掃、維持管理の責任分担についての問いに、基本は学校施設になるので、学校側が清掃するが、利用者は次の利用者や生徒たちのためにきれいにして帰ることを考えている。今後の使い方については生涯学習推進課と学校側とも協議を進めていくとのこと。その他、千鳥駅周辺の住宅開発による児童数の増加への対応、地域と学校の特性を引き出す仕掛けについて、利用しやすい環境づくり、市民意識調査についての詳細な質疑応答が行われた。

学校教育課

資料記載事業について報告。

委員から、キャリア教育事業の「ドリームステージ」が「夢授業交流会」に変更されるが、新型コロナウイルスが一定程度収束した時には再開するのかなどの問いに、現時点では再開については考えていないが、キャリア教育に関しては、各学校代表の教職員で構成される実行委員会形式で来年も進めていこうと考えているため、いろいろ論議も進めていくことになるかと思う。いろいろなことを始めたら検証することは大事であるので、学校現場の反応や子どもたちの反応を見ながら、基本的には実行委員会で考えていくので、その中で十分協議しながらいい形をつくってもらえればとのこと。夢授業交流会にかかる費用についての問いに、まったくのボランティアであるため、委託費なども一切かからないとのこと。教職員の働き方改革の部活動の地域連携について、中体連との関係をどう考えればよいかとの問いに、現在の中体連の状況は、中学校単位での大会参加となっているが、全国大会については学校単位でなくても参加できるようになってきているので、今後下部の大会まで変わってくるのではないかとのこと。教職員の働き方改革による授業時間や夏休みの日程変更についての問いに、6時間授業の日を週2回から週1回にすることで35時間程度の不足となるため、授業日数を増やさないと確保できない。夏休みが若干短くなる可能性も含めて検討しているとのこと。水泳授業の民間委託についての具体的な変更点や新たな予算についての問いに、現在、受入先についてはプロポーザル等で選定していくことで事務を進めているので、まだ決定していない。新たな予算は、スイミングスクール事業者に支払う委託費があり、学校プールの維持管理にこれまでと同じ予算がかかることはないとのこと。不登校児童生徒の支援や居場所についての問いに、学校内外の機関（教育支援センターあすなろ、児童センターや児童館、養護教諭による指導、スクールソーシャルワーカーやカウンセラーなど）で相談を受け、その結果、多くの居場所は自宅が多いが、

オンラインで授業を受けられるようになったケースなどがあるとのこと。その他、学校における新型コロナウイルス感染症後遺症対応、「ドリームステージ」と「夢授業交流会」の違いや意義、教職員の働き方改革による先生の研修、給食時間の確保、発達障がいと思われる子どもの就学前の説明会の周知、不登校児童生徒の追跡調査、令和の日本型教育、古賀市における子どもたちの健康状態の評価、就学援助費の利用状況などについての詳細な質疑応答が行われた。

青少年育成課

資料記載事業について報告。

委員から、物価高騰対策等生活支援事業に対する声や検証、図書館との連携についての問いに、窓口等で直接の声は聴いてはいないが、学校等を通じて子どもたちが喜んでいる姿があったとの声が届いている。今回は子どもたちに直接、具体的に使うものということで、勉強や読み聞かせなどに使ってほしいということで図書カードという形で行った。金額は大きくないが、少なくとも子どもたちの支援に繋がっているのではないかと。図書館との連携は、おすすめの図書を図書館に掲示案内するという形で連携しているとのこと。米多比児童館の機能移転についての問いに、地元区での説明会で機能移転後の建物・土地の利用について結論が出たということではない。今後も継続して協議を進めたいとのこと。その他、若者のボランティアグループワペルの活動内容や課題、青少年支援センターの移転後の相談業務の変化、米多比児童館の機能移転に関する古賀東中学校アンケート結果、市民意識調査についての詳細な質疑応答が行われた。

生涯学習推進課

資料記載事業について報告。

委員から、二十歳の集いについて、託児サービスの利用や今後の成人式の方向性についての問いに、託児サービスについて、今年度は乳幼児を連れた参加者もなく、申込みもなかった。今後の成人式の方向性について、これから先の子どもたちは18歳で成人になるが、お祝いをするタイミングとしては多忙であるので、二十歳になった時にその節目をみんなで味わうのがよいとの意見をもらい、今しばらくは二十歳の集いということで継続していくとのこと。その他、レク式体力チェックの参加状況や周知、古賀北中学校の地域開放室の利用しやすい環境づくり、市民意識調査についての詳細な質疑応答が行われた。

文化課

資料記載事業について報告。

委員から、図書館利用者アンケートの目的や経過についての問いに、図書館を利用している人に視点を置き、サービスの充実を図り、一層使いやすい図書館にするために行うとのこと。ナイトミュージアム&ライブラリーに参加して船原古墳に関する小学生の関心が低いと感じたとの問いに、船原古墳を知ってもらうため、子ども向けのパネル展開催や講座に参加した人へクリアファイルを配布しているとのこと。埋蔵文化財の調査の状況についての問いに、青柳大内田は昨年4月から続けており、今年度いっぱいかかる。青柳町日焼原の遺跡にも年末から取り掛かっているとのこと。千鳥駅前については、来年度予算が通れば来年度着手予定で、広範囲のため時間はかなりかかるとのこと。その他、図書館の赤ちゃん&キッズタイムの取組、読書離れの中での図書館の役割、市民意識調査についての詳細な質疑応答が行われた。

学校給食センター

資料記載事業について報告。

委員から、物価高騰の給食食材への影響についての問いに、若干、食材が高騰している。小学校1%、中学校3%上がっているが、6月の議会での補正予算での補助金を使用して対応。今後の給食費の値上げについては、納入業者の説明を受けて見積もりが出たところで検討していくとのこと。給食で使用している食器の変更の予定についての問いに、今後給食センターの設備、洗浄機械等の入替作業を検討しており、その中で食器の入替えについても考えるとのこと。食育推進事業の見学会の取組についての問いに、全8小学校の児童が調理員とメッセージボードを使ってコミュニケーションを取り、来年度以降も続けていきたいとのこと。その他、給食センターがやるべき食育推進事業、子どもたちの健康状態の評価等についての詳細な質疑応答が行われた。

また、文教厚生常任委員会では、教育総務課所管事務調査として、1月23日に古賀市立古賀北中学校において、古賀北中学校管理棟他大規模改造工事についての市内視察を行っております。

以上、議会閉会中の所管事務調査報告を終わります。